

営農技術情報

一畑作(大豆⑤)一

平成30年 9月11日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

～収穫前の準備と適期収穫により、汚粒の発生を防ぎましょう！～

1 収穫に向けて

(1) 雑草等の除去

ほ場内の雑草が多いと、大豆の茎の乾きが悪くなったり、収穫時の汚粒発生の原因となります。収穫作業の妨げとならないよう、草丈の高い雑草はできるだけ抜き取るようにして下さい。また、生育が極端に遅れている株や、わい化病にかかった株も「青立ち」となり、汚粒の原因となりますので、抜き取るようにしましょう。

(2) 害虫防除について

ハダニの発生が多くなってきています。ハダニは、葉の裏に寄生し、密度が高くなると、糸を張って銀色の模様が見えるようになります。葉の表面はごわごわし、まだら状に黄化します。ほ場周囲から黄化が進むことが多く、徐々に内側に拡大します。まだ、落葉が始まっていないほ場では、防除をご検討下さい。アブラムシ類の寄生が多くなると、収穫した子実に排泄物や汁液が付着し汚粒の原因となります。ほ場での発生や被害の状況を確認の上、発生が多い場合は防除をご検討下さい。

なお、防除実施の際は収穫までの日数を確認の上、薬剤を選定しましょう。

【防除薬剤例】(登録内容は平成30年9月10日時点)

対象害虫	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
アブラムシ類 カメムシ類 マメシクイガ	エルサン乳剤 スミチオン乳剤	1,000倍 1,000倍	7日前 21日前	2回以内 4回以内
アブラムシ類 マメシクイガ	ゲットアウトWDG	3,000倍	7日前	3回以内
ハダニ類	ダニトロンフロアブル	1,000~2,000倍	7日前	1回

2 収穫作業の留意点

子実水分が高い状態で収穫すると、汚粒が発生しやすくなります。

子実水分が20%以下(最適は16%以下)で、茎に「ぬめり」のない(指でこすって「ぬるぬる」しない)状態が収穫開始の目安となります。刈り取り高さは通常7~8cmですが、曇天時や湿度が高い等、茎水分が下がりづらい場合は、汚粒発生を軽減するため、刈り取り高さを高くすることが望ましいです(高さ12cm程度まで)。

農薬の安全使用について

- 農薬散布に当たり、近接する作物へ飛散しないように十分注意しましょう。
- 農薬は必ずラベルを読み、収穫前日数・回数等を確認し、適正に使用しましょう。